

高次元のエネルギーヒーラー

あなたの神聖なギフトを この世界にもたやすために Diana Gazes

ダイアナ・ゲイズ

世界中でワークショップ、ヒーリングを開催し、21世紀の人類の新しい生き方を提唱する。メタマクリエーターでもある。ダイアナはテレビ、ラジオのインタビュー、本や雑誌にも掲載される他、テレビシリーズ「Gaze into The Future」(未来を見つめて)の司会を担当。彼女のワークはドラゴンワロ・エネルギーテクの本「フラワー・オブ・ライフ」(第2巻)「アチューラミスピリット」にも紹介されている。



OFFICIAL DATA

home

アメリカ・シャスタ山

website

<http://www.theighteam.com> (英語)
<http://theighteam.blogspot.com> (英語ブログ)

works

光の周波数を上げ、マスターとして生きるためのワークを行う。
DNA 活性化、過去生からの痛みや傷を癒すヒーリングセッションなど。

Anything is Possible.
神の手を通して、
どんなことも起こるのです。
ハートは高次元の扉を開くドア。
古いパターンを手放し、
5次元のフィールドへ。

ダイアナ・ゲイズさんのまわりには奇跡的なエピソードが多い。平日の個人セッションに來たあるクライアントは、足の指を複雑骨折し、全治3カ月で松葉杖をついていた。しかし、セッションが終わり帰る時には杖なしで歩いて帰れるようになったそう。また、ダイアナさんがシャスタ山や富士山で撮影する写真にはたくさん光の玉のようなものが一緒に写っている。写真に現れる光はコンピュータ加工ではなく、自然に撮られたもので、すべてスピリットから与えられたものだという。「スピリットたちは私たちと共同創造をしたいから、映像を通してこのような形で見せてくれているんです」。

ワークショップでは、私たちの内在する可能性のフィールドを開いていく。光のマスターや評議会たちを呼び出し、意識や肉体に対し多次元的に働きかけ、周波数を上げていく。高次元の周波数でいられるようになる。たとえどんなことが起こっていても、自分が光の柱となり周りを安定させ、バランスをもちたすことが出来るのだという。

「ワークショップに來た人は、細胞組織に光をもたらすことで、自然に若返っていきます。まるで温泉に入った後のようになります(笑)」

また、何世紀に渡ってプログラミングされてきて、もう不必要となったものを取り外し、過去のすべてを癒していくワークも行う。癒されていくプロセスでハートは開き、多次元的なギフト、神なるクリエイティブティが活性化される。すると、現実社会でも新しい商品や新しいプロジェクトを具現化し、作り上げていけるようになるのだ。

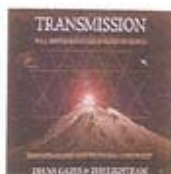
今は新聞やニュースでは悲惨な出来事など最悪な状態ばかりがフォーカスされているが、本当はユニークで特別な時なのだ。ダイアナさんによれば、2005年の10月から宇宙からエネルギーのシャワーが強烈に降り注ぎはじめているのだという。

「過去30年間スピリチュアルな目覚めの道を歩んできましたが、こんなにパワフルで強いエネルギーに出会ったことはありません」天から覆被教や神聖幾何学、時号が降り注がれていて、それによって私たちは浄化と解放のプロセスをたどっているのだ。

「悲しいことが出てきた時には「ありがとう！」と感謝して自分を優しく抱きしめ、祝福してください。解放は愛とともに起こっていくのです。」



DVD
「5次元の神聖な体験」
(5th Dimensional Experience)
2,990円(税込)



CD
「TRANSMISSION」
2,940円(税込)

お問い合わせ
コスミックビジョンスペース (株) ダイナビジョン
TEL 03-3791-8466 FAX 03-3791-0466
<http://www.dynavision.co.jp> info@dynavision.co.jp

5次元のライトボディ フルプリント

(メッセージ: あなたの3次元の肉体を5次元の新しい人類のフルプリント(精華)に書き換えなさい。細胞レベルの変容。あなたの12本のDNA根のアップグレード。あなたのオリジナルな魂の安全性への保護をおこないなさい。)



愛は癒しのエネルギーそのもの。神聖なギフト。ハートは多次元的な才能を開く扉です。

今回の来日時には駿馬団に付き、日本のパワースポットが大好きなダイアナさん。次回の6月某日には夏空のセレモニー、また東京、大阪、福岡など日本各地でもワークショップ、セッションを行う予定です。

パワフルな光のワークとパワースポットの活性化でどんな奇跡が起こるのだろうか。

世界にみる、スピリチュアル事情